

関東のねぐらのモニタリングにおける標識情報集めの体制

加藤ななえ(バードリサーチ)

情報収集のための試み

- ・ 「野鳥」誌での呼びかけ
- ・ ホームページでの呼びかけ
- ・ 各地の自然観察講座での呼びかけ
- ・ ねぐら調査の中の調査項目に、標識確認をとり入れた

多くの確認報告が継続的に得られた！

観察のしやすい場所では、多くの情報が長期にわたって提供される

継続 個人の調査意識の高まり 周りの人を巻き込む

大事なこと……報告者とのやりとり

- 〔 標識個体の由来などの情報を素早く送る
- 〔 観察から得られるであろう調査項目の可能性を一緒に考える

関東では、1998年から毎年東京湾沿岸のコロニーで黄色のカラーリングの装着が行われてきた。2004年春までに約2300羽のカワウに黄色リングが標識されている

関東では、1994年から毎年7月・12月・3月に確認されているすべてのねぐらで個体数調査を行っている

